

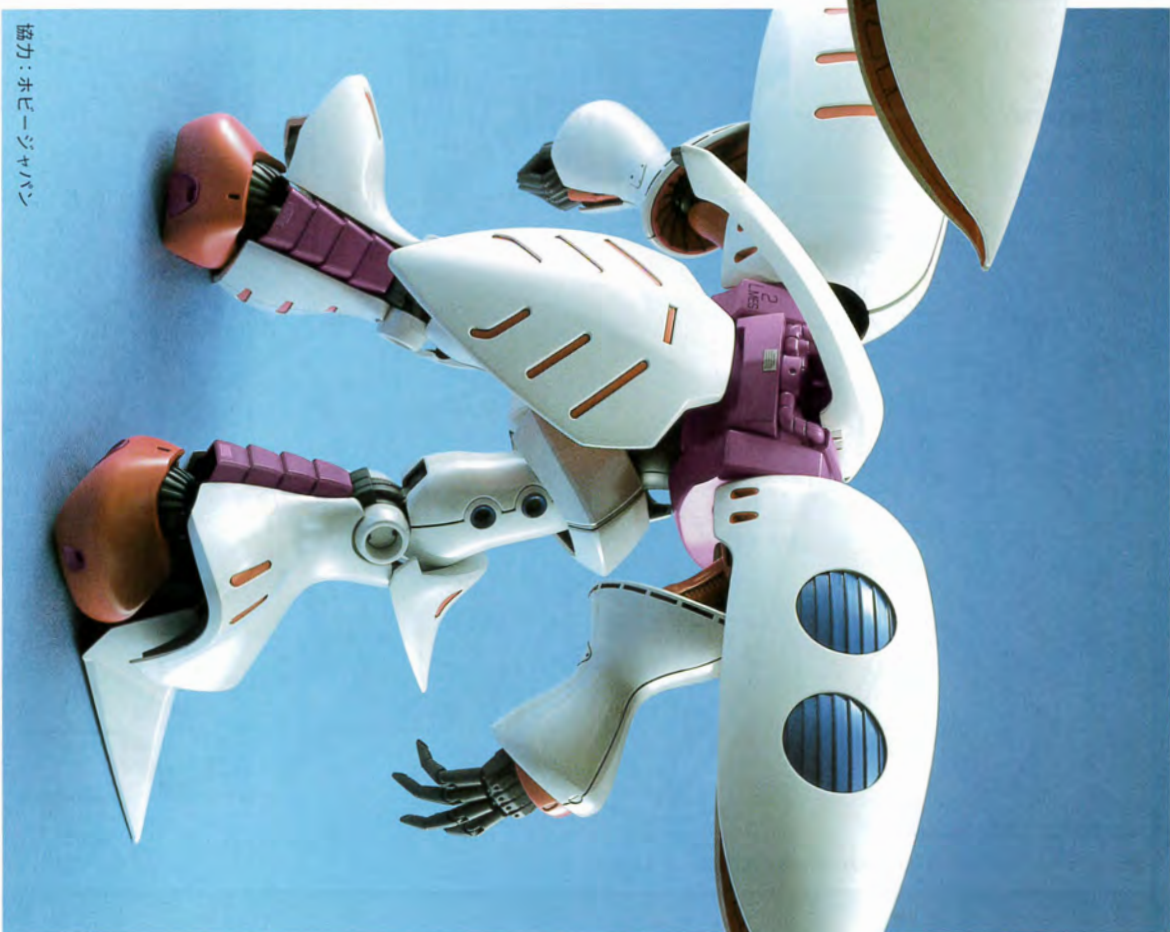
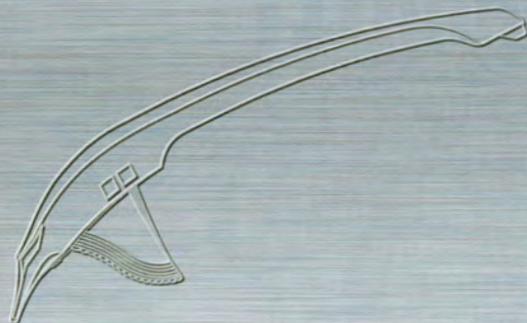
GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
パソコン
インターネット
→ www.bandai-hobby.net/
本ホームページはインターネットを通じて提供されるサービスです。
Any fees incurred by your access method and connection to
the website are your own responsibility.



MOBILE SUIT
AMX-004

QUBELEY

AXIS PROTOTYPE
MOBILE SUIT FOR NEWTYPE



協力：ホビージャパン



アクシズ
ニュータイプ専用モビルスーツ
AMX-004「キューベレイ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

AMX-004 QUBELEY

AXIS PROTOTYPE MOBILE SUIT FOR NEWTYPE



アクシズ
ニュータイプ専用モビルスーツ
AMX-004「キューベレイ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI SPIRITS 2001 MADE IN JAPAN

5063508





るエルメス2=L-MES2のコードネームで開発され、小型化されたエネルギー充填型のビットは、形状がジョウゴに似ていたことからファンネル(FUNNEL)と呼ばれるようになった。キューベレイは、機体制御そのものにもサイコミュが採用されていると言われており、グリプス戦争当時、最高水準のNT専用兵器であると同時に、圧倒的な機動性と運動性および高レスポンスを実現した高性能MSでもあったのである。無論、そのためには専任パイロットであるハマーン・カーンの高いNT能力が必要であったことは言うまでもない。

キューベレイが実戦に投入されたのは、グリプス戦役も末期に差しかかった時期であった。それまでにアクシズが使用したMSは量産型のガザCのみで、アクシズはキューベレイのみならず膨大な戦力を温存していたのである。キューベレイが実戦に投入されたのは、ティターンズのコロニーレーザーを破壊もしくは奪回するためにエゥーゴが共闘を申し出た際のこと、ハマーンはその交渉のため、キューベレイを駆って単身アーガンに乗り込んでいる。そして、敵味方が錯綜するいくつかの戦闘を経て、三つどもえの混戦となった「メーラ・シュトローム作戦」展開時にZガンダム、百式、ジ・Oなどと熾烈な戦闘を繰り広げた後、この機体は数カ月間、実戦にはほとんど参加していない。最後の戦闘となったのは、グレミーの反乱によるネオ・ジオンの内部抗争が終結して後のことであった。そしてハマーンはキューベレイを駆り、非常に個人的な思惑でZZガンダムとの決戦に臨み、撃破されている。

AMX-004 QUBELEY

U.C.0079年12月31日。ア・バオア・クーの陥落と共に地球圏を脱出してアステロイドベルトへと逃げ延びたジオン公国軍残党は、グリプス戦争が勃発するU.C.0087年代まで、小惑星アクシズを拠点として雌伏していた。その期間、彼らは窮乏生活を続けながらもMSおよびNT(ニュータイプ)関連の技術研鑽を最優先事項のひとつとして継続し、ガンダリウム系合金の精錬やファンネルシステムなど、いくつもの画期的な技術や手法を確立した。

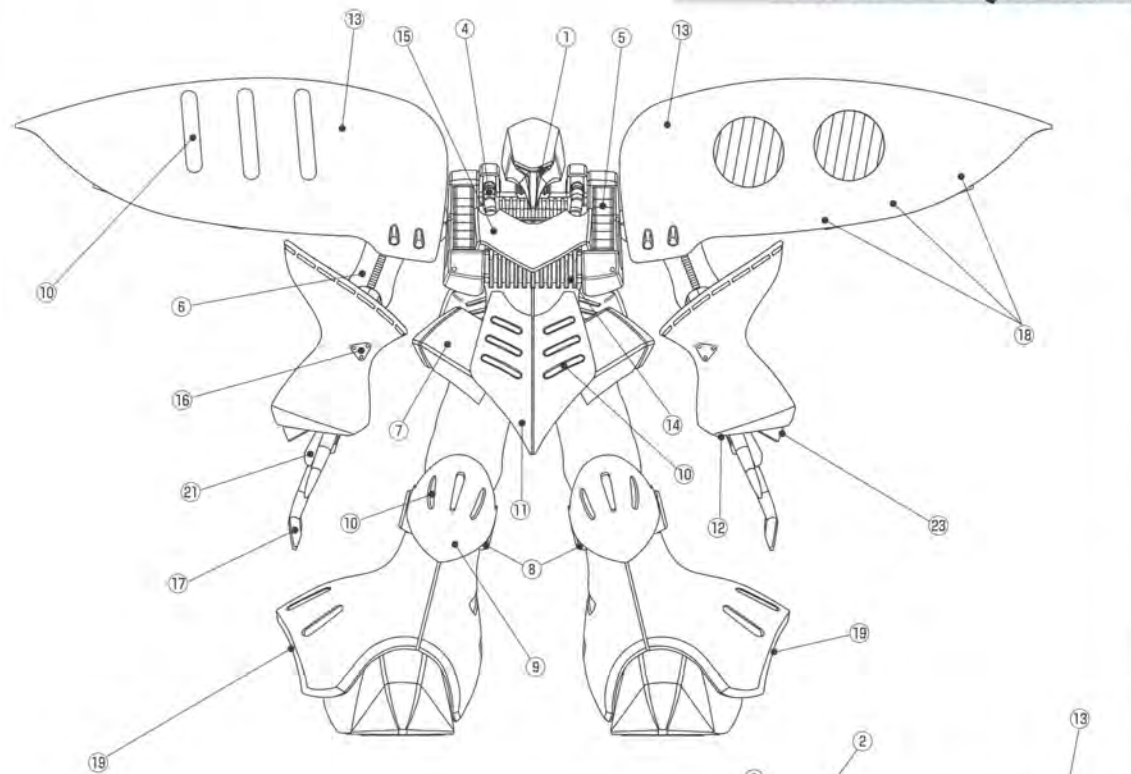
アクシズにおいては、NT能力そのものの解明、あるいは解析と並行して、サイコミュ端末の小型化が進み、当初は「ブラウ・プロ」のように小型宇宙艇並みの容積が必要だったサイコミュデバイスは、MSクラスの機体にも搭載できるようになった。加えて、パイロットに対する負担も軽減され、さらに多くのBIT兵器を同時に操作することが可能となり、より広範囲な領域のオールレンジ攻撃が可能となっている。

キューベレイは、一年戦争時、NT対応兵器としては最大の戦果をあげた「エルメス」の発展型として開発されたMSである。無論、「エルメス」や「ジオング」は戦局を覆すほどの影響力はもたなかったものの、単機当たりとしては圧倒的な「強さ」を発揮した。キューベレイは、そのNT対応兵器の更なる高性能化を目標として開発されたMSで、一年戦争当時の機体と比較するまでもなく、超高性能の機体となっている。ただし、この機体を乗りこなすためには高いNT能力が必要であり、実質的にハマーン・カーン専用機となっている。この機体に至るまで、いくつかの試作機が存在すると言われてるが、詳細は不明である。

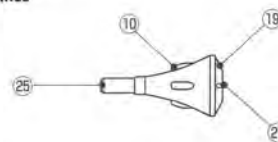
キューベレイは、エルメスのMS化をコンセプトとするMSである。親機であるエルメスと子機であるビットの組み合わせというコンセプトを継承したキューベレイは、エルメスの発展型であることを意味す

Conceptual illustration : Katoki-Hajime

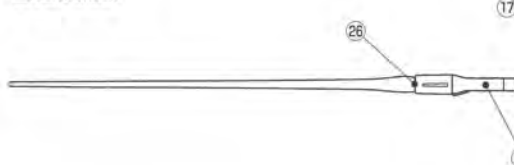
AMX-004 QUBELEY



■ FUNNEL



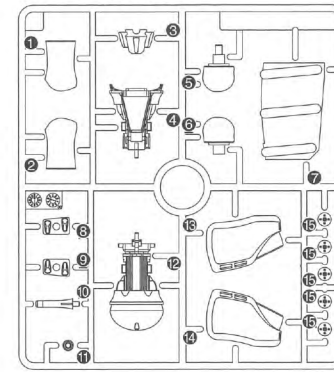
■ BEAM SABER



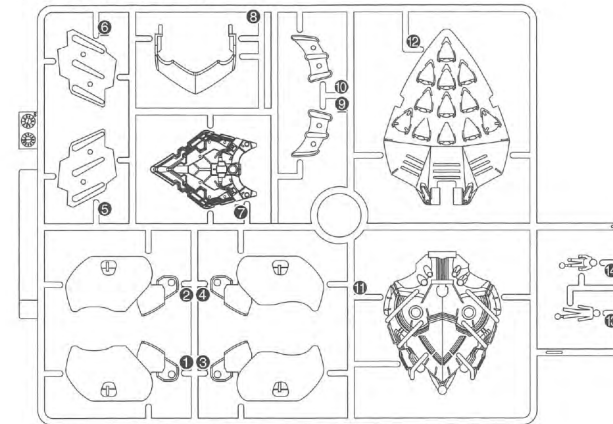
- | | | | |
|------------------------|----------------|-----------------------|--------------------|
| ① メインカメラ | ⑧ ニー関節アーマー | ⑮ コクピットハッチ | ⑳ リアアーマー/ファンネルコンテナ |
| ② リアセンサー | ⑨ ニーアーマー | ⑯ メンテナンスハッチ | ㉑ ナロウレンジサイトセンサー |
| ③ サイコウェーブセンサー/エミッターアレイ | ⑩ サブセンサー | ⑰ ディレクティブサイコウェーブエミッター | ㉒ カーフリングストラクチャー |
| ④ パワーサブライケーブル | ⑪ フロントスカートアーマー | ⑱ メインスラスタ | ㉓ マズル |
| ⑤ サブシステムコネクタールベルト | ⑫ ビーム・ガン/サーベル | ⑲ サブスラスタ | ㉔ マルチビーム・エミッター |
| ⑥ エルボー関節アーマー | ⑬ ショルダーバインダー | ㉕ リストサポートユニット | ㉖ ターミナルコネクタ |
| ⑦ サイドスカートアーマー | ⑭ ヒートシンク | ㉖ マニピュレーター | |

注) この機体は、アクシズの地球圏帰還から約2ヶ月の間温存されていた。そして、U.C.0089年1月17日の第一次ネオ・ジオン壊滅までの期間、アクシズのフラッグシップMSとして君臨し続けた

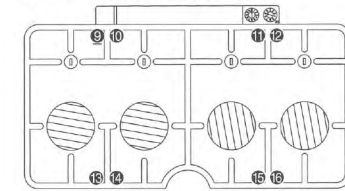
Hパーツ (×2)
(スチロール樹脂: PS)



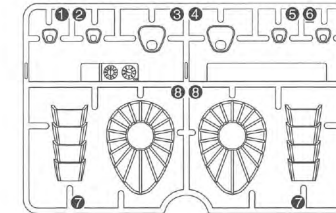
Gパーツ
(スチロール樹脂: PS)



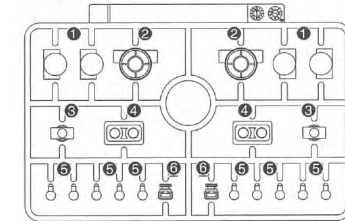
J2パーツ
(スチロール樹脂: PS)



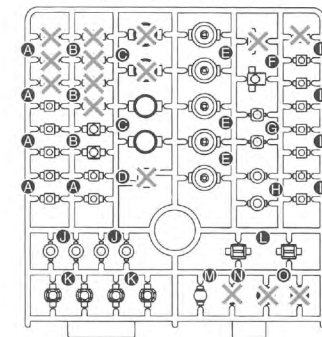
J1パーツ
(スチロール樹脂: PS)



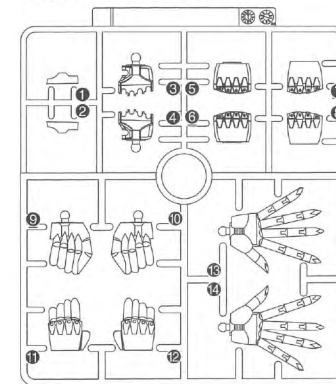
Kパーツ
(ポリエチレン: PE)



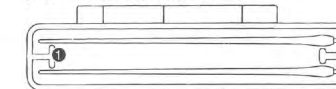
PC-121
(ポリエチレン: PE)



Iパーツ
(スチロール樹脂: PS)



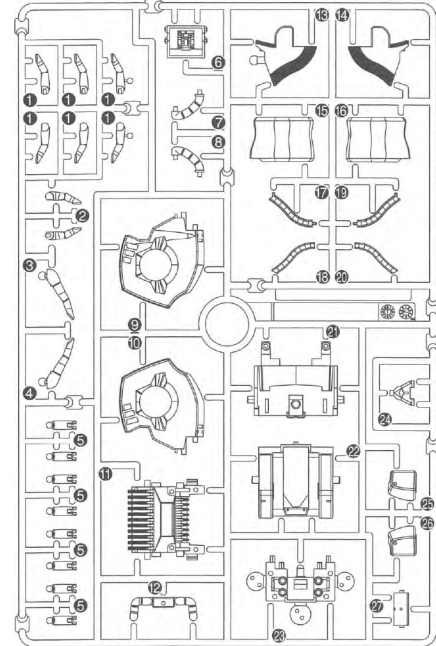
SB1パーツ
(スチロール樹脂: PS)



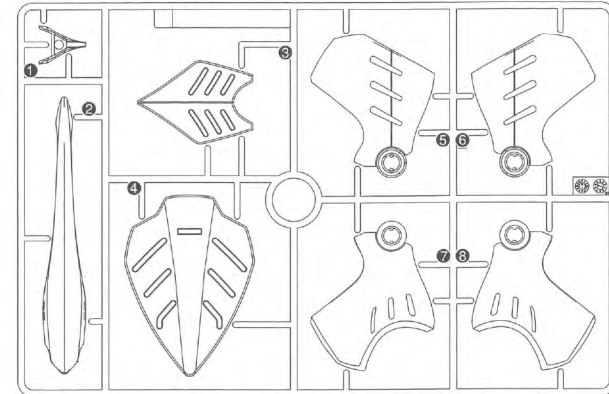
カラーシール………1枚
マーキングシール…1枚
ガンダムデカール…1枚

パーツリスト

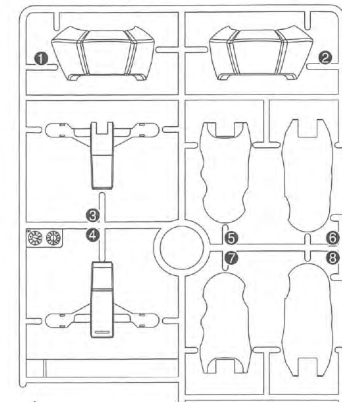
Aパーツ
(スチロール樹脂: PS)



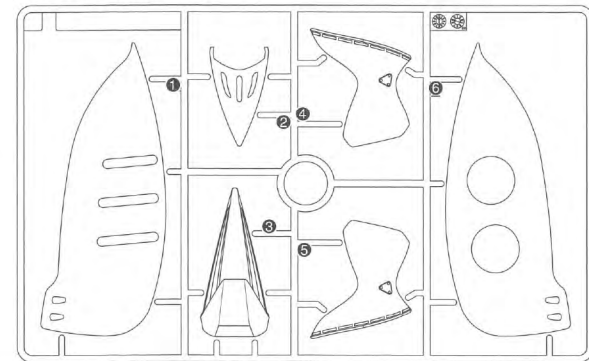
Bパーツ
(スチロール樹脂: PS)



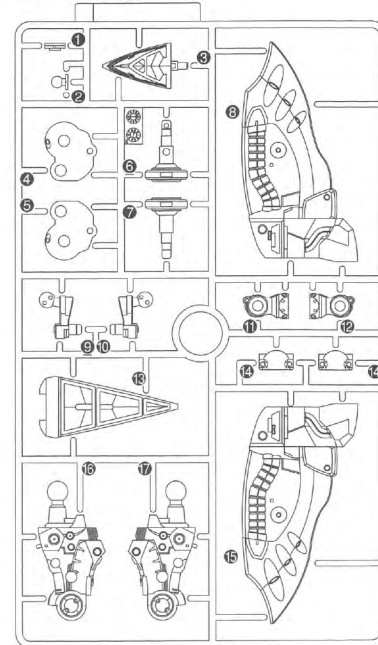
Dパーツ
(スチロール樹脂: PS)



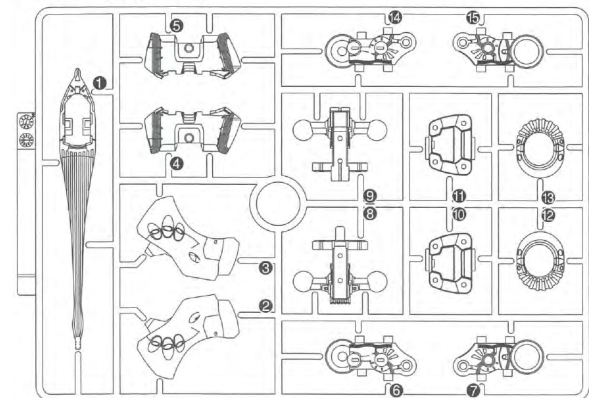
Cパーツ (×2)
(スチロール樹脂: PS)



Fパーツ (×2)
(スチロール樹脂: PS)



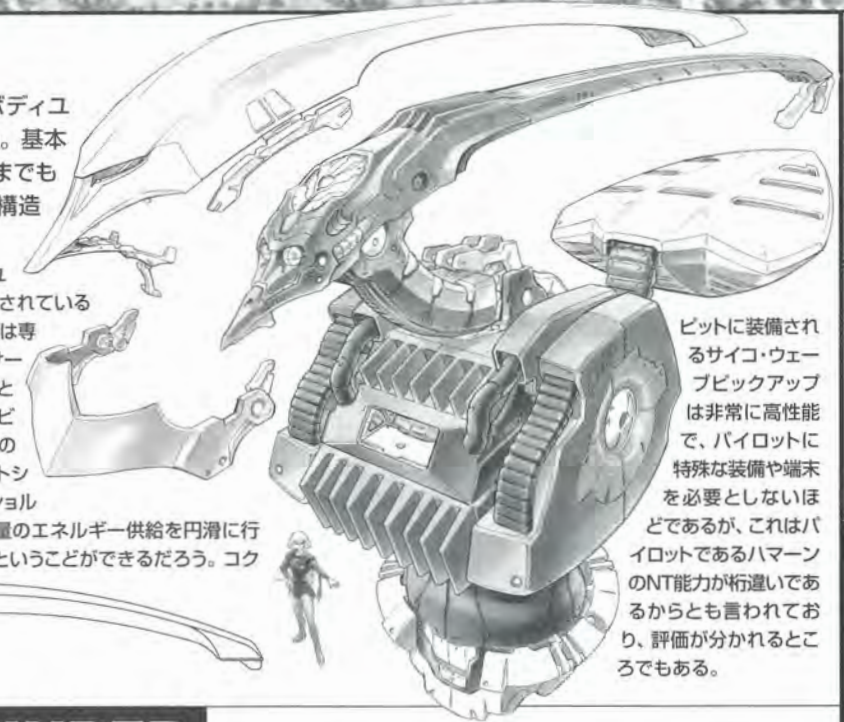
Eパーツ
(スチロール樹脂: PS)



BODY UNIT

キュベレイは、エルメスの構造をボディユニットに集約、再構成した構造を持つ。基本的には、頭部からファンネルコンテナまでもが機動装備を除いたエルメスの基礎構造と同等の機能を持つ。

キュベレイの頭部は、MSとしてのヘッドユニットとサイコ・ウェーブの送受信端末が内装されているため独特の形状となっており、メインモニターは専用のスリットキャン端末が増設されたセンサーを2基装備し、デュアル構成の視認システムとなっている。加えて頭部形状そのものがスタビライザーとしても機能する。胸部には高出力のジェネレーターが内装され、動力経路とヒートシンクが並列する構造となっている。これらはショルダーバインダーやファンネルポッドへの大容量のエネルギー供給を円滑に行うための、非常に洗練されたデザインであるといえるだろう。コク

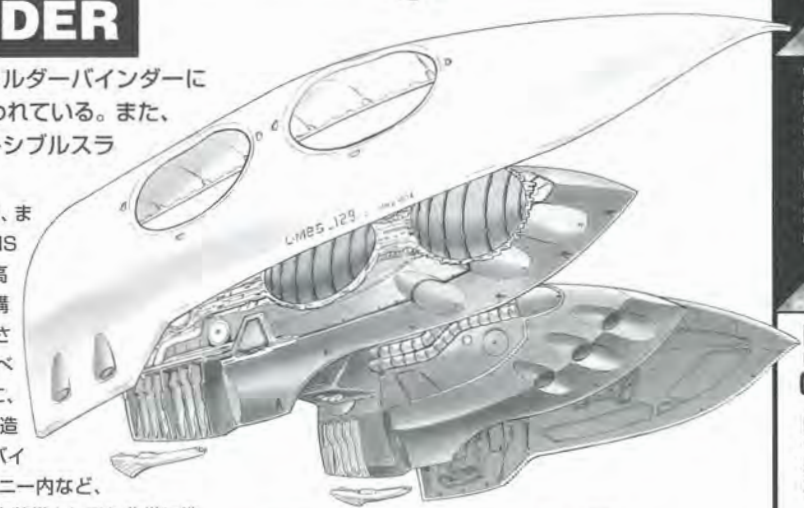


ビッドに装備されるサイコ・ウェーブピックアップは非常に高性能で、パイロットに特殊な装備や端末を必要としないほどであるが、これはパイロットであるハマーンのNT能力が桁違いであるからとも言われており、評価が分かれるところでもある。

SHOULDER BINDER

キュベレイの機体機動のほとんどは、ショルダーバインダーに内装された計12基のスラスターによって行われている。また、4枚すべては独立したシールドおよびフレキシブルスラスターバインダーとしても機能する。

キュベレイは、エルメスの後継機としてのみならず、まずMSとして高性能なことが求められた。高性能なMSとは、まず、高機動であることが求められる。MSの高機動化の過程で、主推進装備を本体から独立させる構造は、U.C.0083年代には連邦系の技術として提出されており、それはAMBAC装備の発展形として在り得べき装備でもあった。実際、キュベレイは1対の腕の他に、機動装備として2対の腕を別に装備しているような構造であると言える。加えてこのショルダーバインダーは、シールドとしても機能する。さらに、コロニー内など、大気が存在する領域にも対応可能で、文字どおり空力装備としても非常に洗練された機能とデザインを体現している部位でもある。ただし、その際、スラスターの燃焼に大気を利用しているかどうかは不明である。



ARM UNIT

キュベレイの武装はファンネルと腕部のビーム・ガン/サーベルのみであり、MSの特徴である“汎用性”を喪失していると考えられることもできるが、逆に言えば、他の装備は不要であるという矜持を示していると考えられることもできる。

キュベレイの各指の先端には、頭部後方のものとは設計概念の異なるサイコ・ウェーブ端末が装備されているため独特の形状となっている。これは、サイコミュを遠隔誘導装備として使用する場合の最大の課題であった“混信”あるいは“共感”現象を極力排除するための装備であるとされている。つまり、思考のみでコントロールするのではなく、行為としてファンネルを指



差すことで、“操る”行為に、より指向性を持たせるという補助装備なのだ。これにより、パイロットの“思惟”をより強化した形で端末に伝達するのである。加えて、この指先の形状そのものが近接戦闘用の打突武装（特に貫用手用）としても使用可能であると言われているが、詳細は不明である。手首に装備されたビーム・サーベルユニットは、ビーム・ガンとしても使用することができ、唯一の近接戦闘用の自衛武装となっている。

Mechanism illustration : BEE-CRAFT

注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様がお誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶりたり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

組み立てる時の注意

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。

・接着をするところの線	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側と同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動きます

1 x2

2 x2

3 x2

4 x2

5

6

LEG UNIT

キュベレイの脚部は、歩行装備であると同時にランディングギアでもあり、脚部全体が巨大なバーニアユニットでもある。空間戦闘用MSとしては標準的な機能を持つのみだが、そのシルエットは卓越した意匠を持つ。

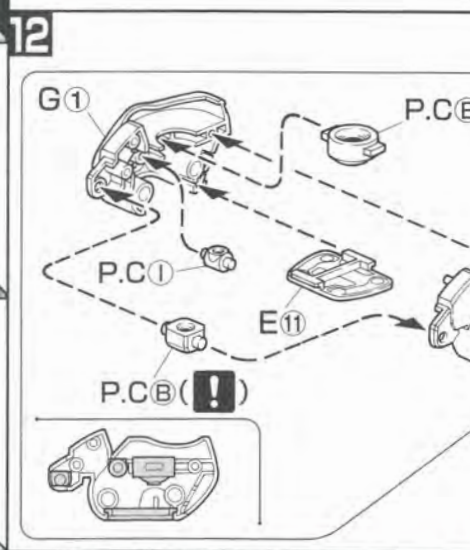
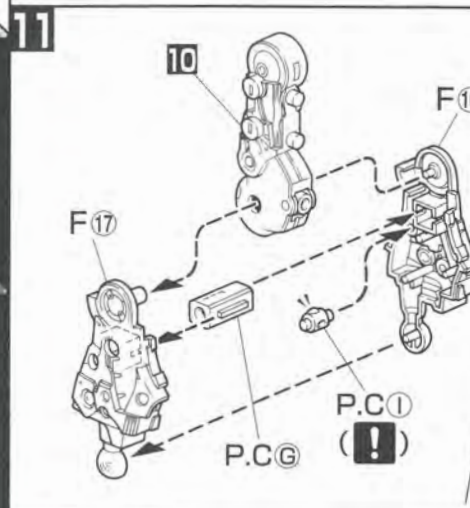
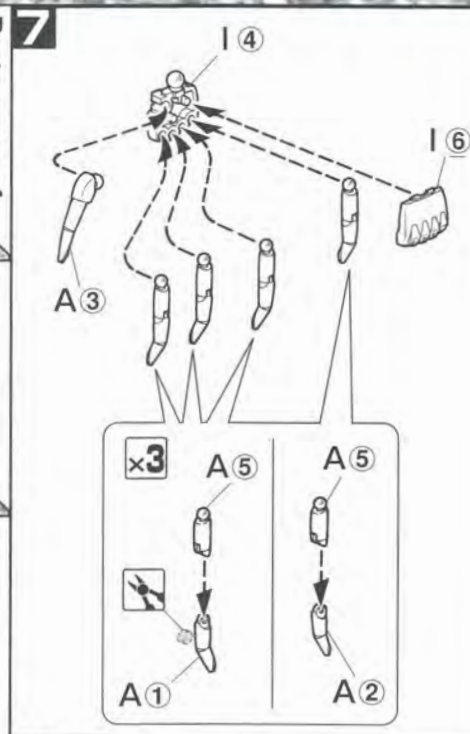
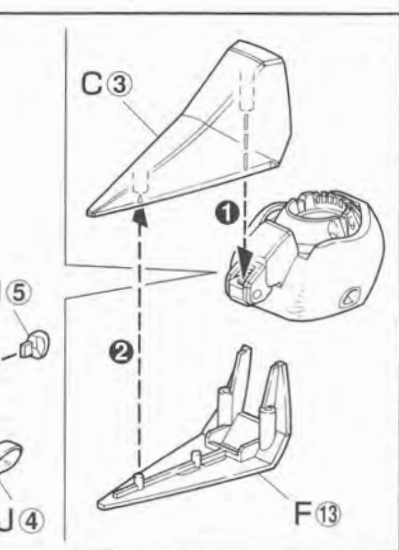
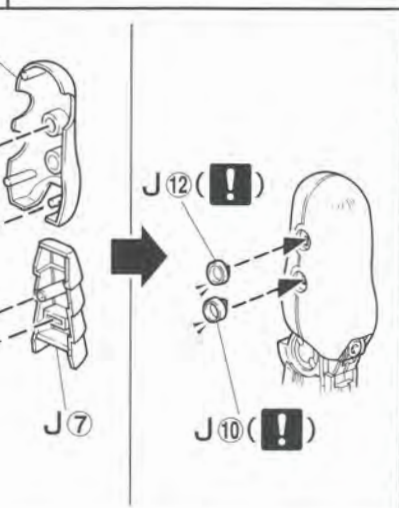
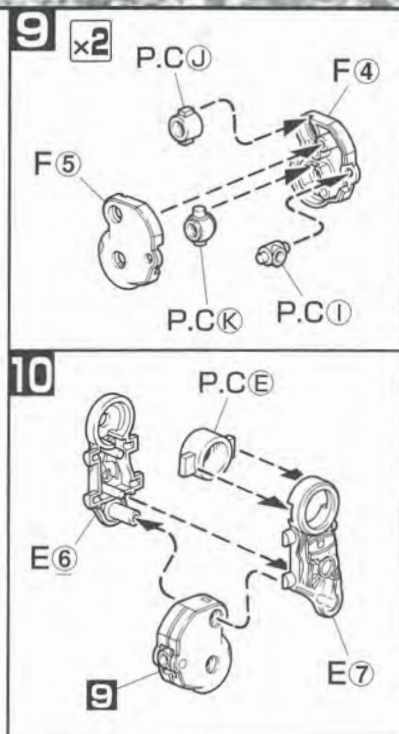
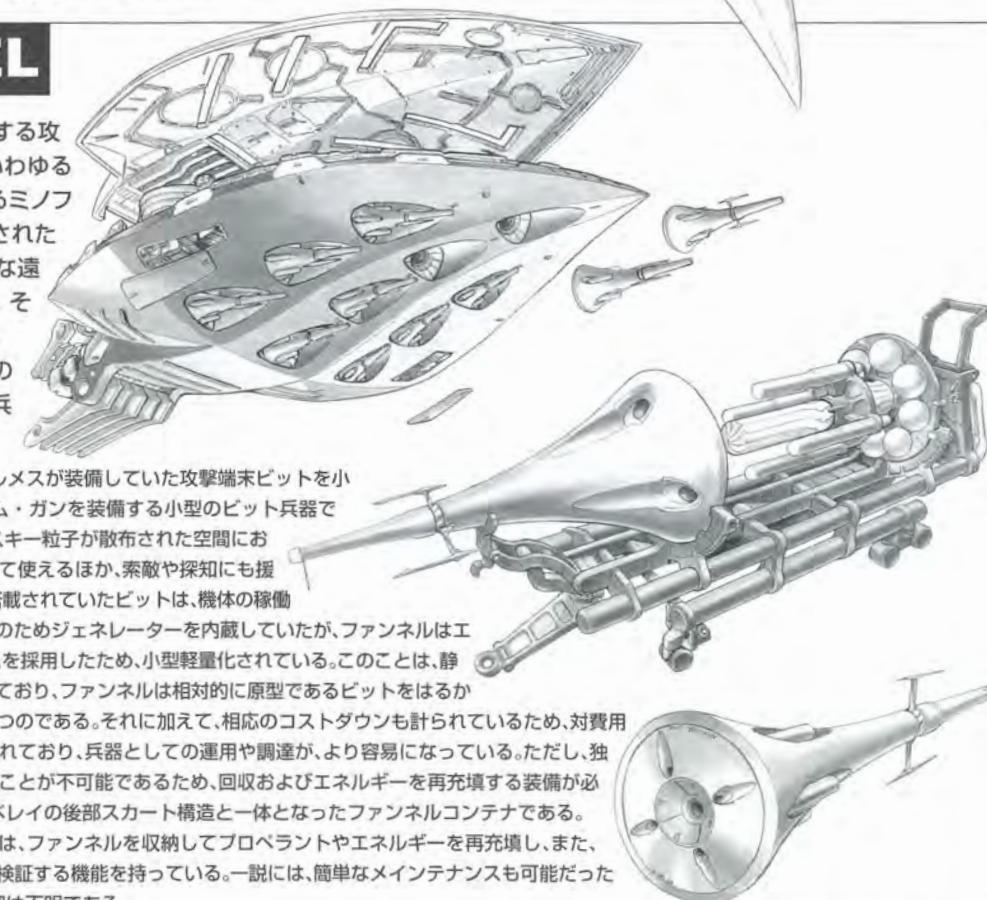
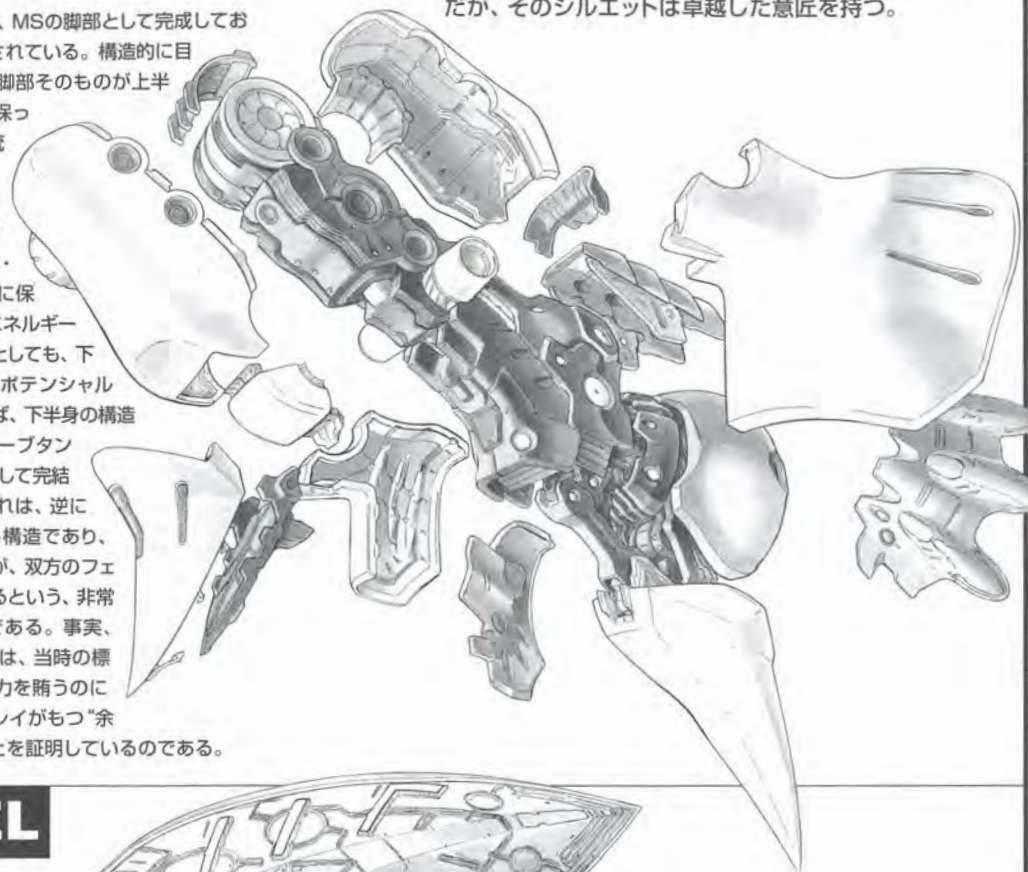
キュベレイの脚部は、MSの脚部として完成しており、さらに非常に洗練されている。構造的に目立った特徴はないが、脚部そのものが上半身とは独立した構造を保持しており、エネルギー系統も基本的には独立していると言われている。つまり、キュベレイの脚部は、プロペラントとコージェネレーターを独自に保有しており、上半身のエネルギーゲインを全て消費したとしても、下半身のみでほぼ同量のポテンシャルを持つのである。いわば、下半身の構造そのものが巨大なリザーブタンクであり、MSの駆体として完結しているのである。これは、逆に上半身にも当てはまる構造であり、一機のMSの上下構造が、双方のフェイルセーフを賄っているという、非常に画期的な構造なのである。事実、上半身と下半身の推力は、当時の標準的なMS数機の機動力を賄うのに十分なもので、キュベレイが持つ“余裕”が伊達ではないことを証明しているのである。

FUNNEL

エルメスが装備する攻撃端末ビットは、いわゆる電子戦を無効化するミノフスキー粒子が散布された空間において有効な遠隔誘導兵器として、その威力を発揮した。ファンネルは、その小型版とも言える兵器である。

ファンネルとは、エルメスが装備していた攻撃端末ビットを小型化したもので、ビーム・ガン装備する小型のビット兵器であるといえる。ミノフスキー粒子が散布された空間において遠隔誘導兵器として使えるほか、索敵や探知にも援用できる。エルメスに搭載されていたビットは、機体の稼働とビーム砲のドライブのためジェネレーターを内蔵していたが、ファンネルはエネルギーCAPシステムを採用したため、小型軽量化されている。このことは、静止質量の減少も意味しており、ファンネルは相対的に原型であるビットをはるかに上回る高機動性を持つのである。それに加えて、相応のコストダウンも計られているため、対費用効果が圧倒的に改善されており、兵器としての運用や調達も、より容易になっている。ただし、独立して長時間稼働することが不可能であるため、回収およびエネルギーを再充填する装備が必要となる。それがキュベレイの後部スカート構造と一体となったファンネルコンテナである。

ファンネルコンテナは、ファンネルを収納してプロペラントやエネルギーを再充填し、また、ファンネルそのものを検証する機能を持っている。一説には、簡単なメンテナンスも可能だったと言われているが、詳細は不明である。





LOVEHATE RELATION

U.C.0088年2月22日。エウゴ、アクシズ、ティターンズによるグリプス2を巡る三つどもえの艦隊戦は、一進一退の攻防を繰り返しながらも、終局を迎えようとしていた。グリプス2のコントロールを手中にしたエウゴは、シロッコ率いるティターンズ艦隊を掃討すべく、コロニー・レーザーを稼働させる。ところが、レーザーの起動が始まったシリンダーの中にカミーユとシャア、ハマーン、シロッコが乗り込み、三すくみの対決を展開する。結局、コロニー・レーザーは4人の脱出を待って掃射され、ティターンズ艦隊は壊滅。コロニー・レーザー「グリプス2」も崩壊し、エウゴも戦力の過半数を喪失してしまう。シロッコはカミーユとの戦いに敗れ去り、一方のハマーンはシャアとの決着のため、大破した百式を追い詰める。「これで終わりにするか、続けるか? シャア!」「お前にそんなことを決める権利があるのか!」ハマーンはシャアに自らの軍門に下るよう命じるが、シャアはそれを拒絶。自覚覚悟でキュベレイの背後のエネルギー設備にバルカンを放つ。「シャア... 私と来てくれれば……」。爆発を避けて脱出したハマーンは、その光芒を見つめながらつぶやいていた。



ACTION POSE



MEERSTORM

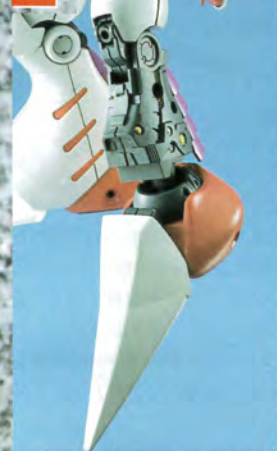
U.C.0088年2月2日。アクシズに占拠されたコロニー・レーザー「グリプス2」を奪還するため、エウゴはメール・シュトローム作戦を発動した。カミーユはハマーンを誘導すべくZ(ゼータ)ガンダムで出撃し、エウゴ艦隊はグリプス2を取り囲み攻撃を開始する。自軍の不利を見て出撃するハマーンのキュベレイがZガンダムに迫る。と、その時、カミーユとハマーンの精神は共鳴し、その想いや感情を互いに垣間見てしまう。ハマーンを理解したと感じたカミーユは戦いをやめるよう呼びかけるが、ハマーンはその気安さに激昂し、Zガンダムを追い詰める。「やめろ! ほくたちは解りあえるんだ!!」「黙れ! 貴様もシャアと同じだ!」そこに、増援の部隊が駆けつけ、キュベレイは脱出。エウゴはグリプス2の占拠に成功するものの、カミーユとハマーンの決着はつかずじまいだった。



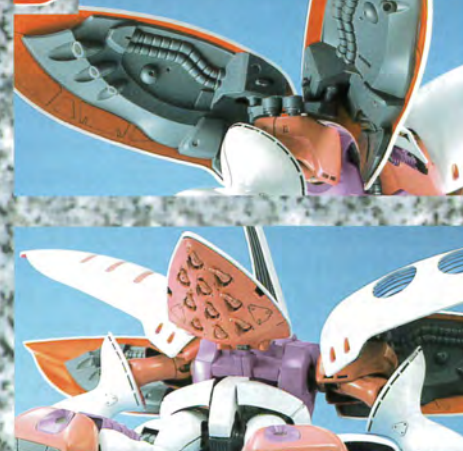
WARRIOR AGAIN

U.C.0088年12月25日。ネオ・ジオン内部で、グレミー・トトと、それを支持する勢力が謀反しアクシズを掌握。ハマーン率いるコア3と双方の艦隊が対峙するという事態が発生していた。戦況はしばらく膠着していたが、翌0089年1月16日、グレミー軍がアクシズをコア3に激突させたのを皮切りに状況は混乱に陥る。それに乗り、ネェル・アーガマのジュード・アーシタラガンダムチームはグレミー軍を撃破。と同時に、グレミーが遂行していた作戦のため、ハマーンの艦隊も半数以上を喪失してしまった。状況を見て取ったハマーンは、初めてノーマルスーツを身に纏い、ジュードとの決戦に望む。かつて、アステロイド・ベルトにおける住み家だった居住用の小惑星モウサに戦いの場を移し、Z(ダブルゼータ)ガンダムと激戦を繰り返すキュベレイ。と、その戦いのさなか、自らの敗北を悟ったハマーンは、結局は自分も重力に魂を引かれていたことをジュードに告白する。「帰ってきてよかったよ。強い子に遇えて……」そしてハマーンは、ジュードの差し伸べる手を振り切ると、その野望と波乱に満ちた生に自ら幕を引いた。

LEG



DETAIL



PAINTING

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(MG/HG「キュベレイ」用)をお使いください。

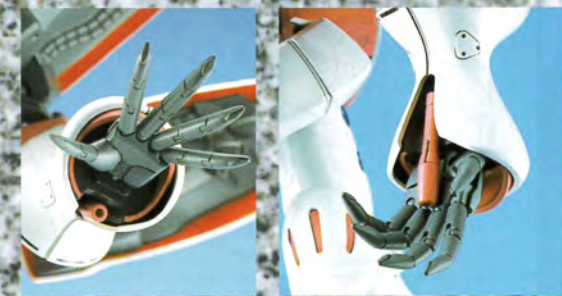
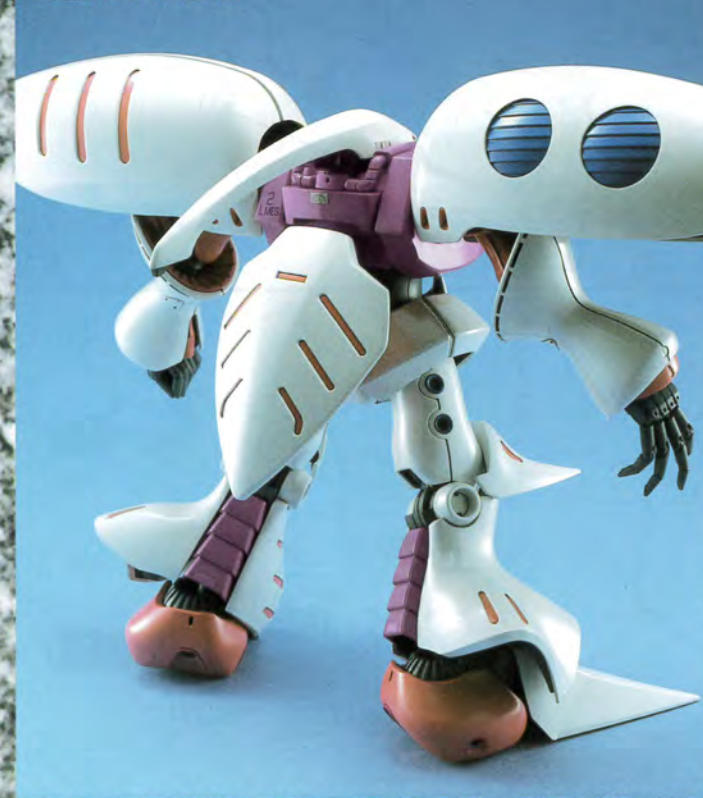
- 本体などの塗装色。
ホワイト(100%) ※またはガンダムカラー ホワイト3
●本体をパール仕上げにする場合は、ホワイト3の上にガンダムカラー スプレー-JG04 Gホワイトパールスプレーを吹きつけてください。
- ボディなどの塗装色。
パープル(60%) + コバルトブルー(30%) + モンザレッド(10%)
※またはガンダムカラー パープル2
- 上腕、カカト、コクピットハッチなどの塗装色。
蛍光ピンク(60%) + シェインレッド(20%) + パープル(10%) + ホワイト(10%) ※またはガンダムカラー ピンク1
- 関節、腹部などの塗装色。
ニュートラルグレー(60%) + ミディアムブルー(30%) + ダークグレー(10%) ※またはガンダムカラー エクストラダークグレー
- 肩ダクト部の塗装色。
インディブルー(60%) + コバルトブルー(40%)



FRONT VIEW



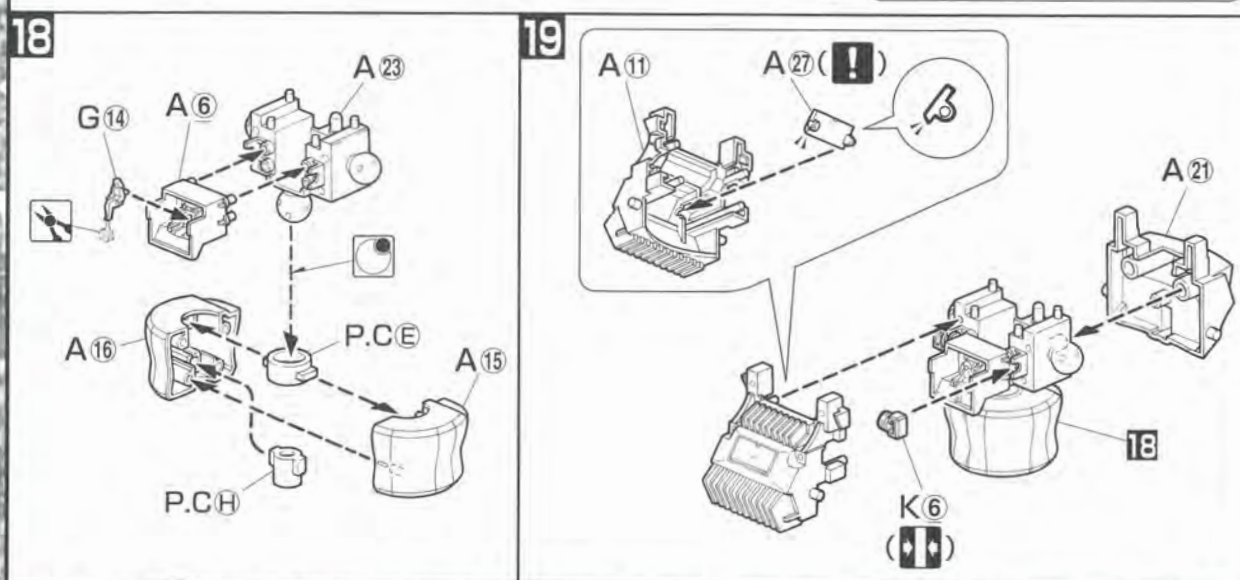
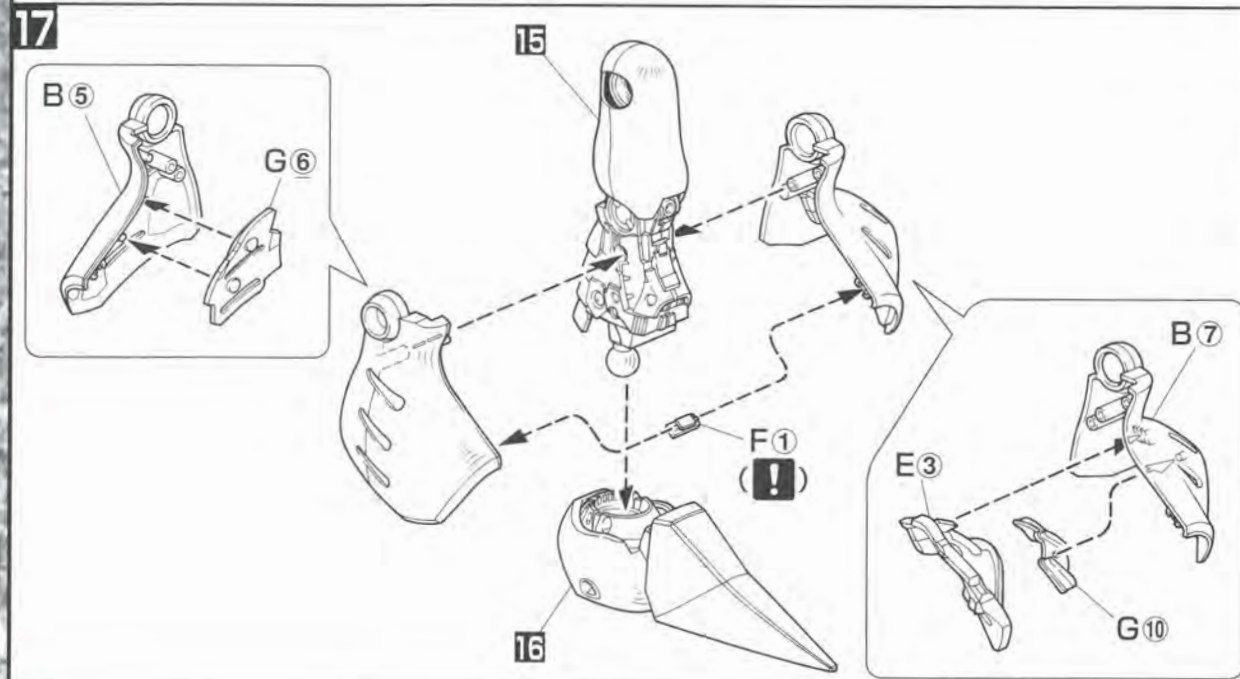
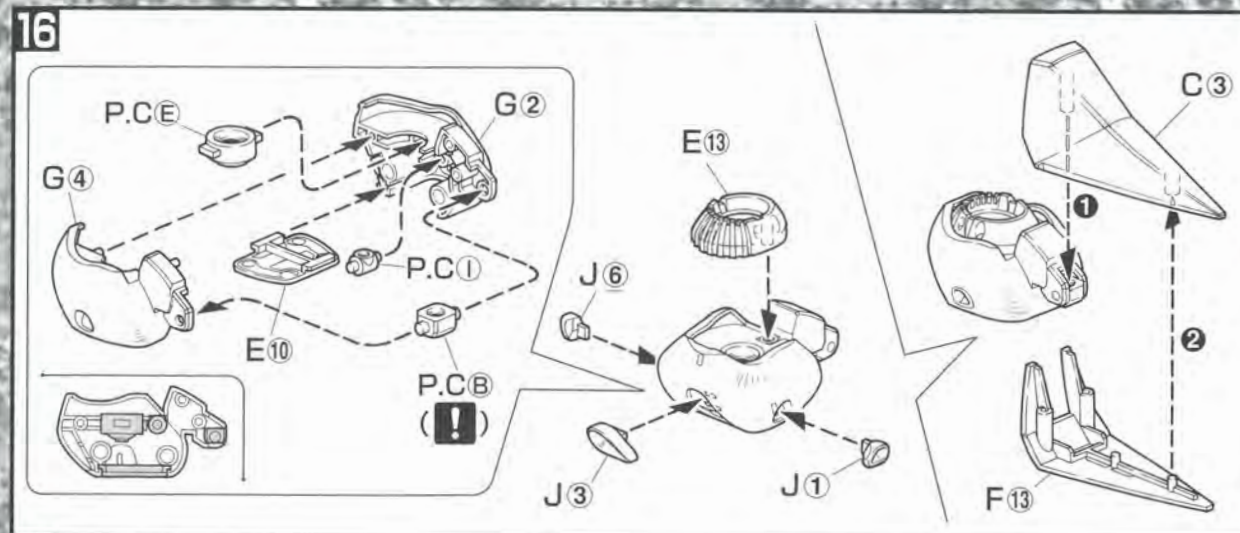
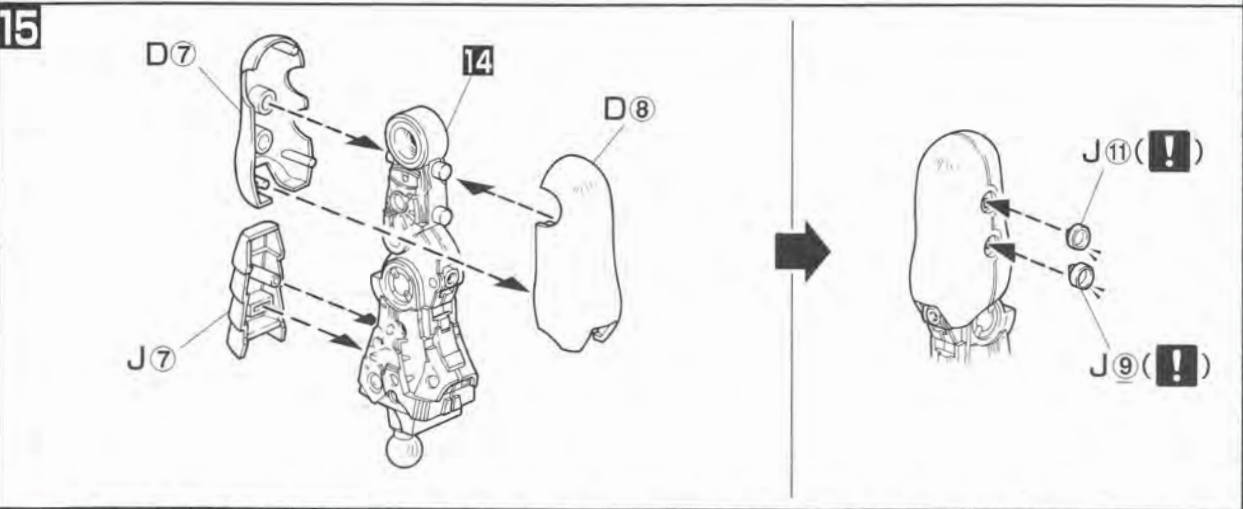
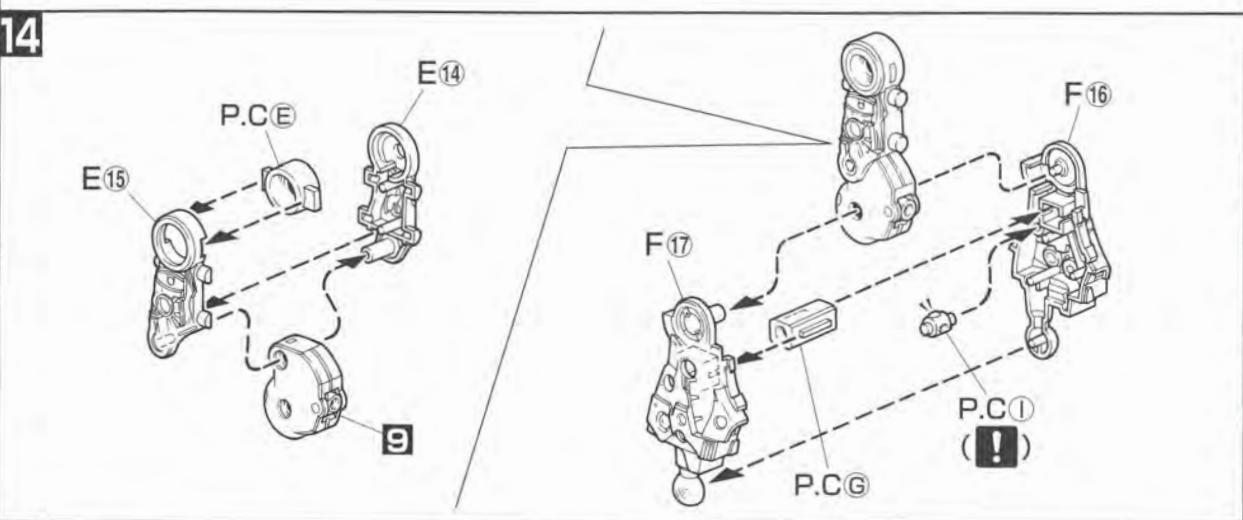
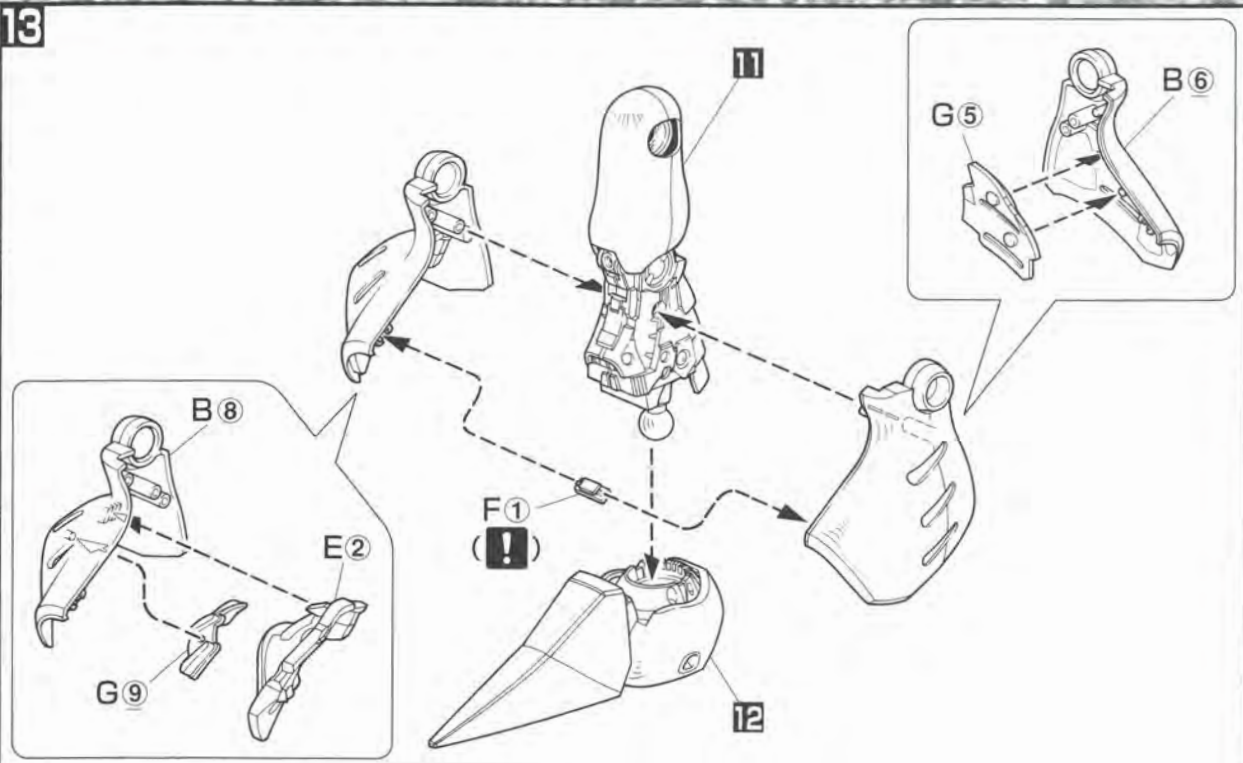
REAR VIEW

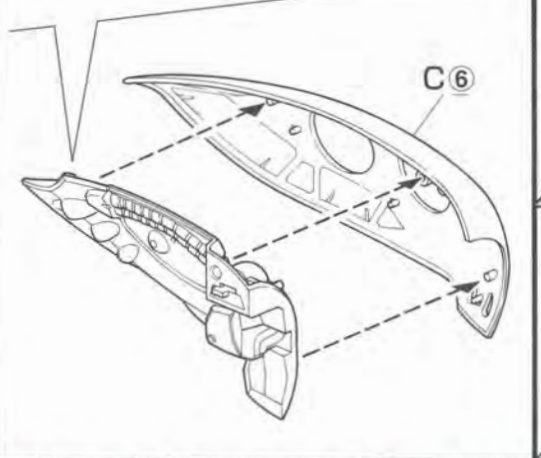
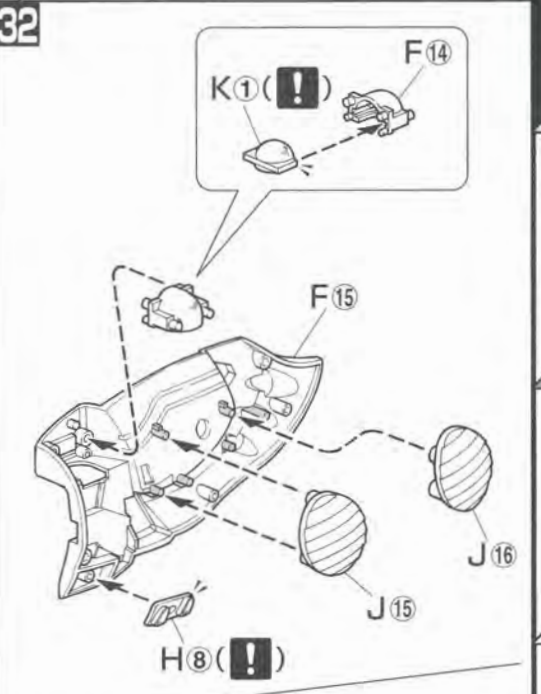
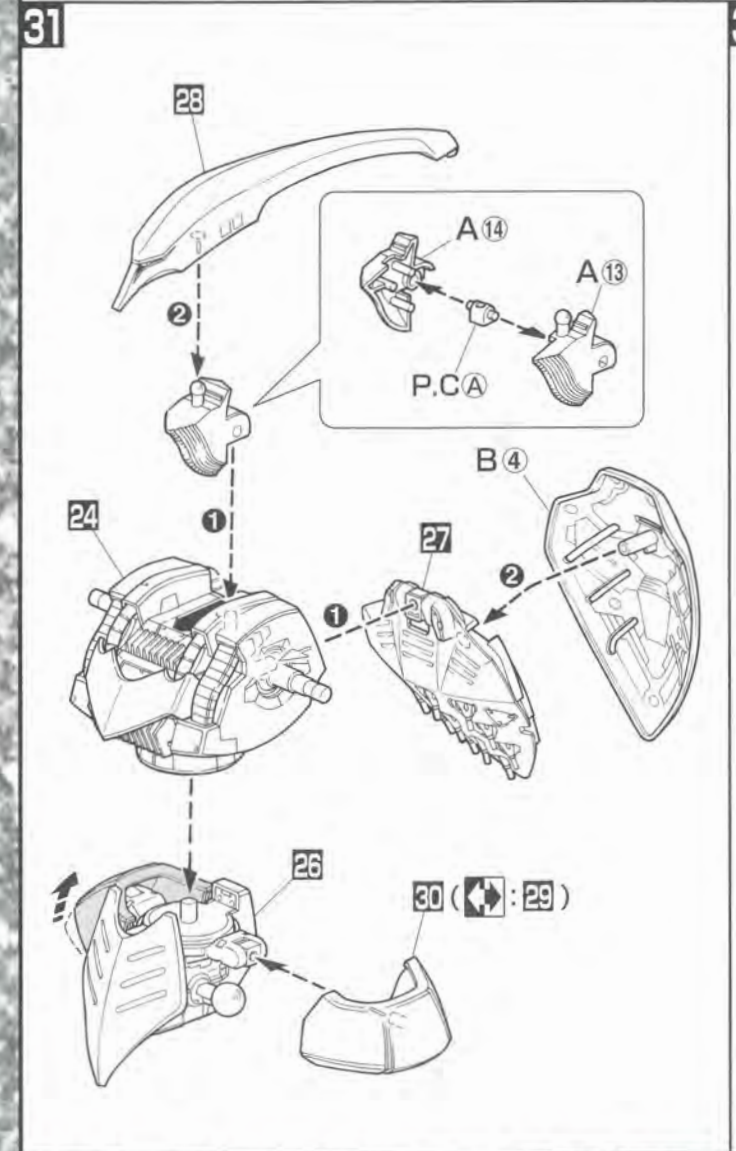
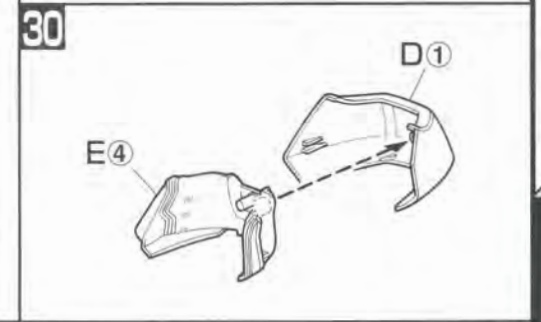
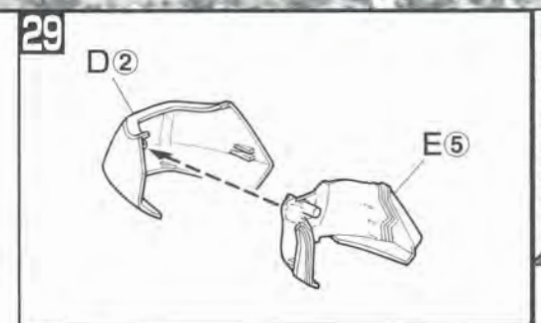
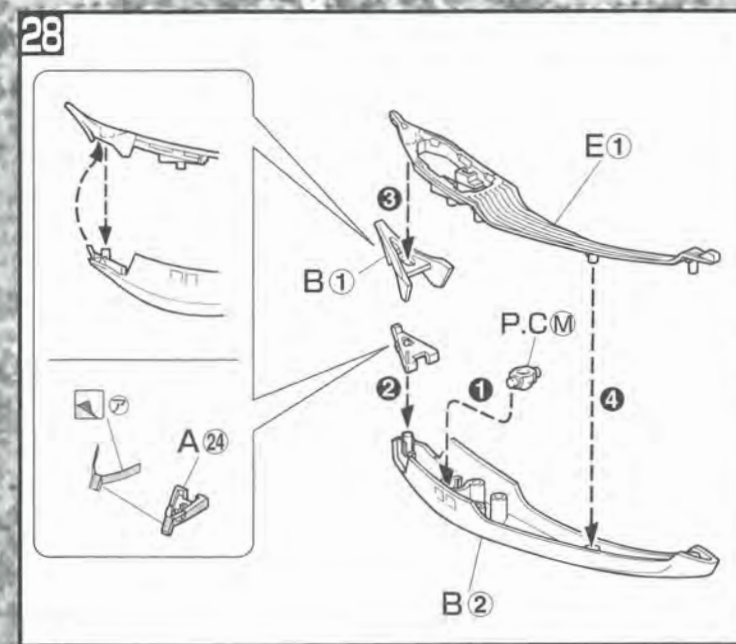
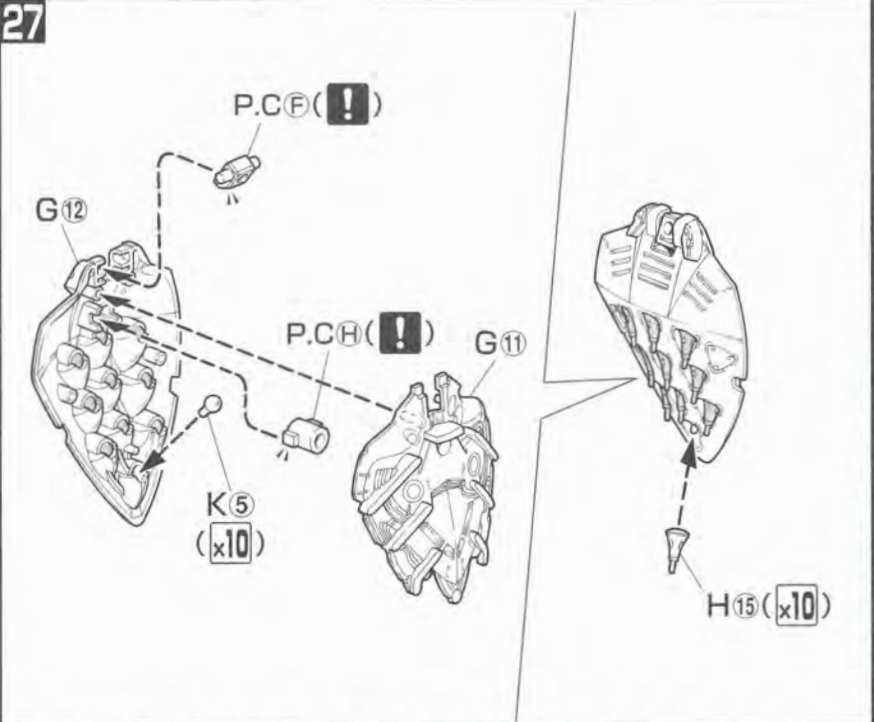
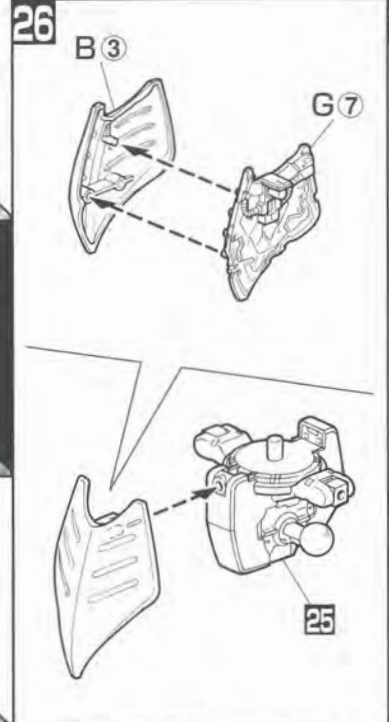
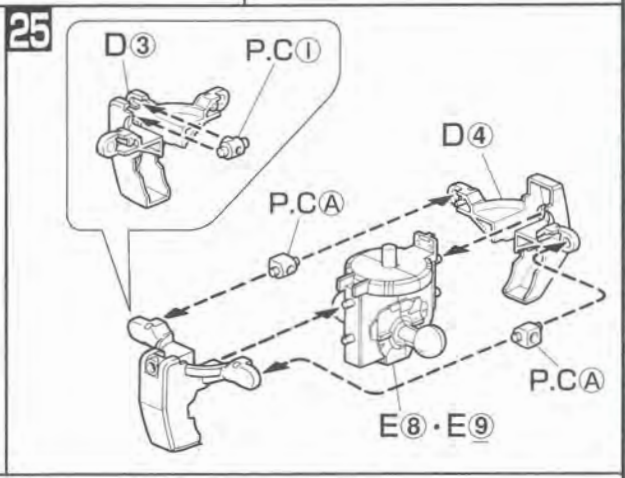
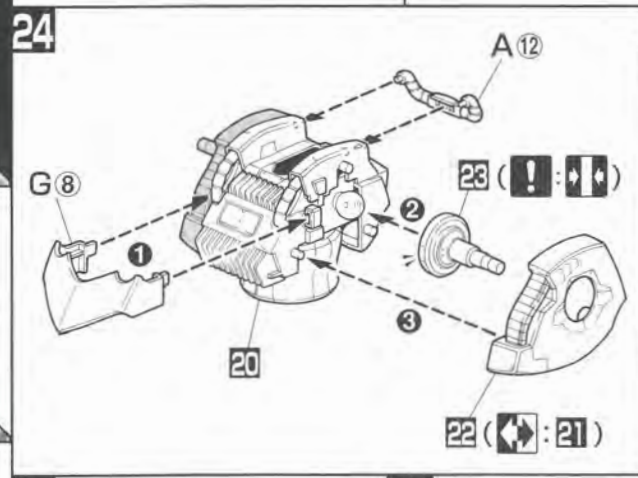
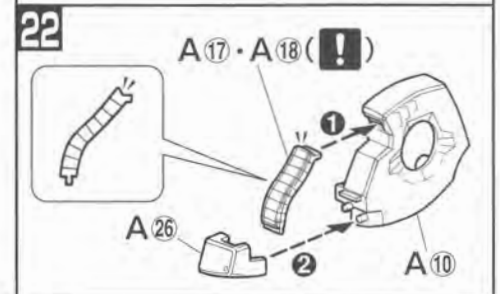
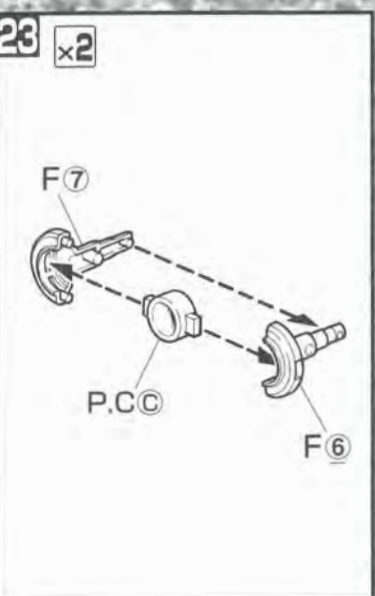
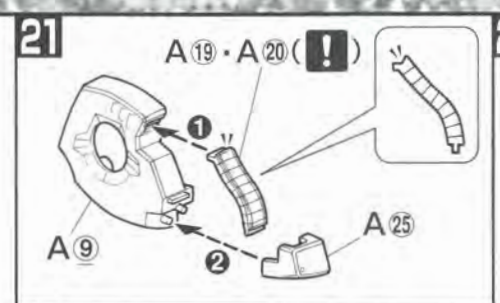
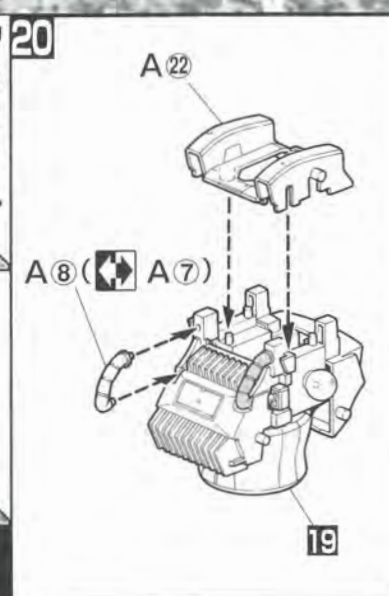


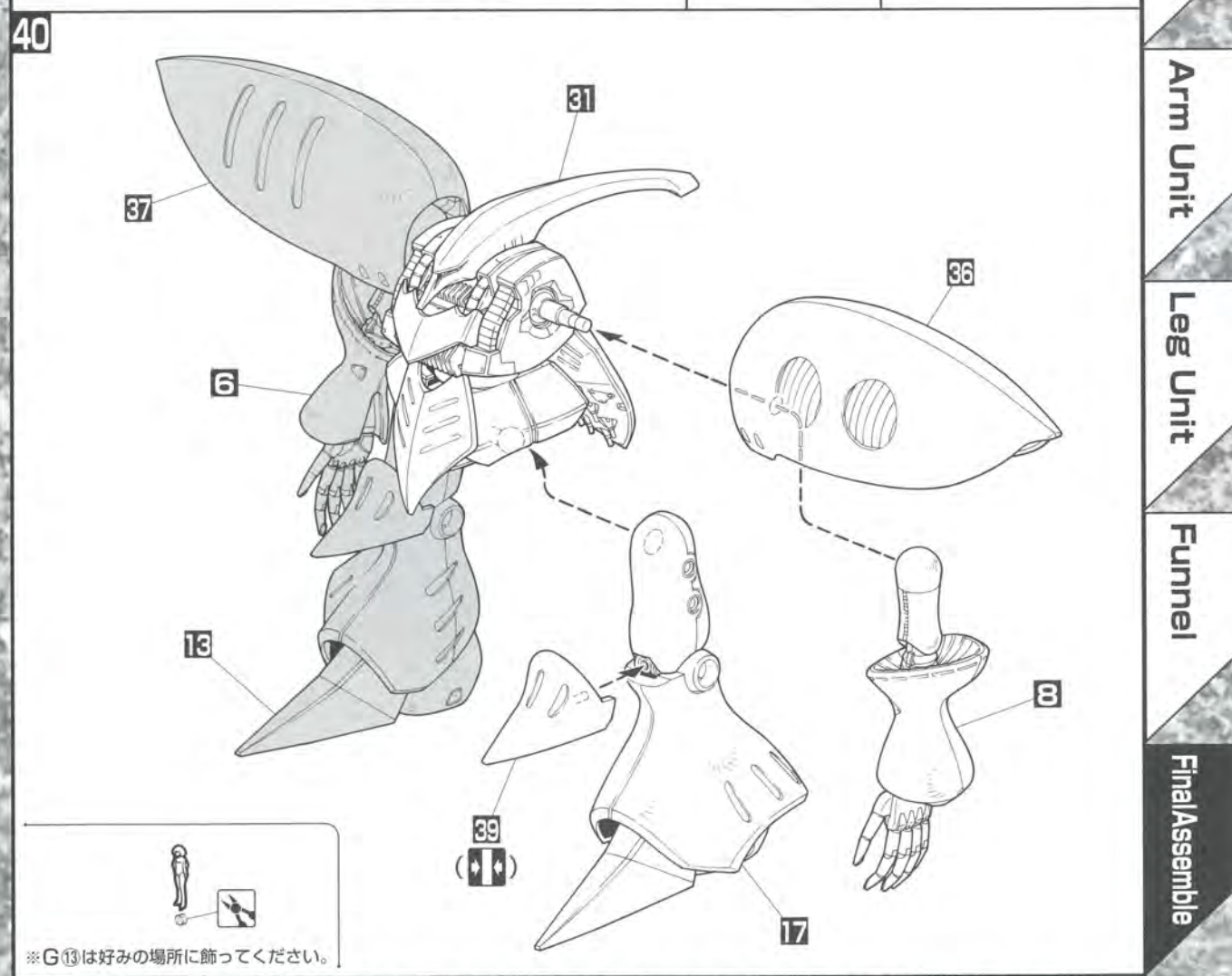
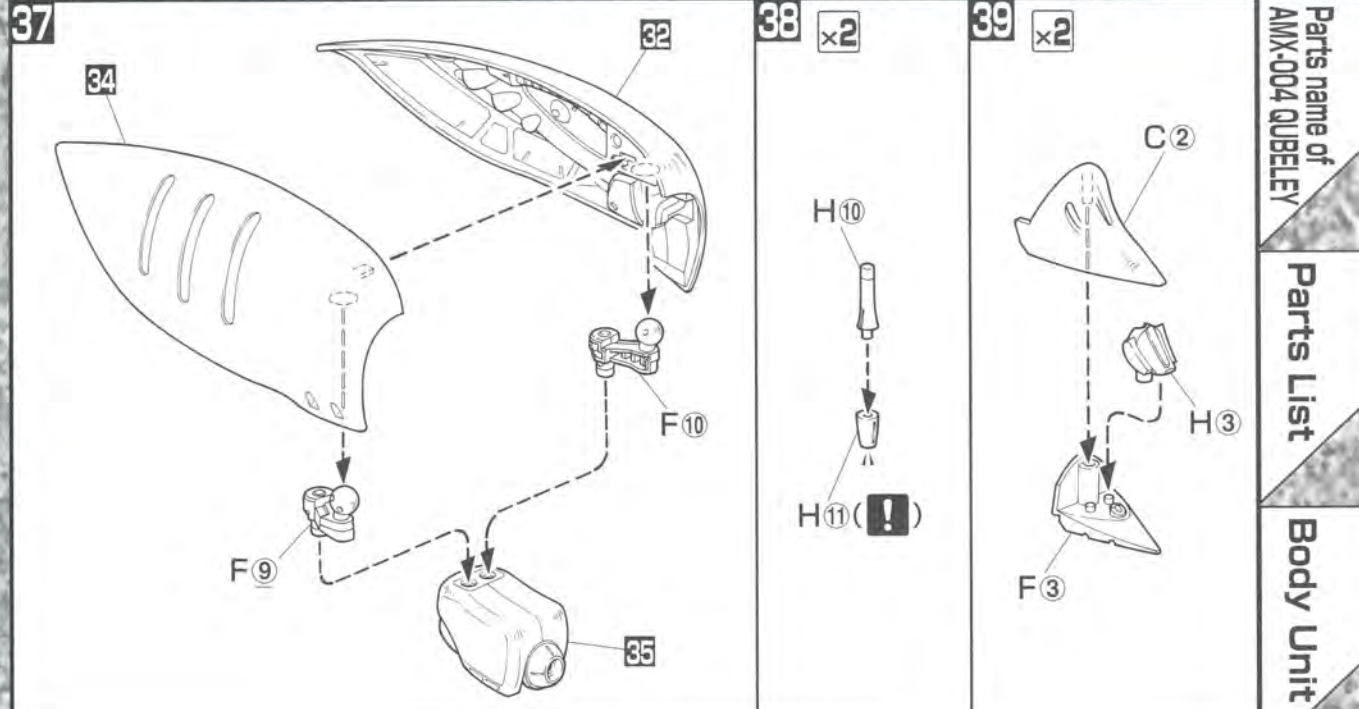
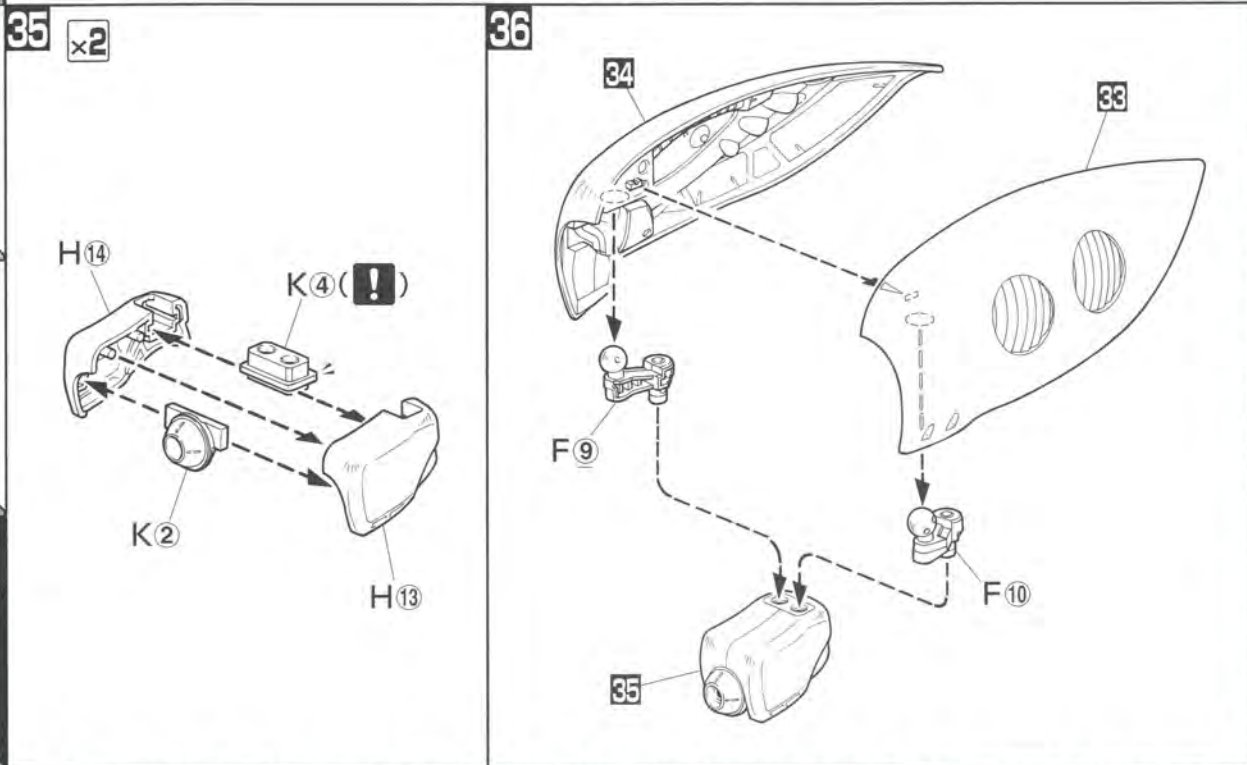
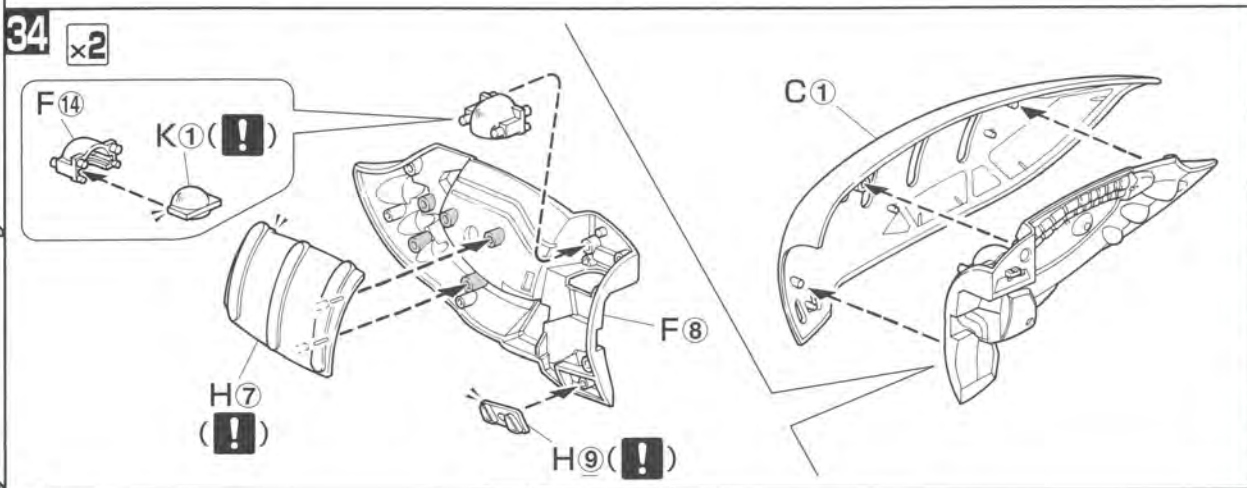
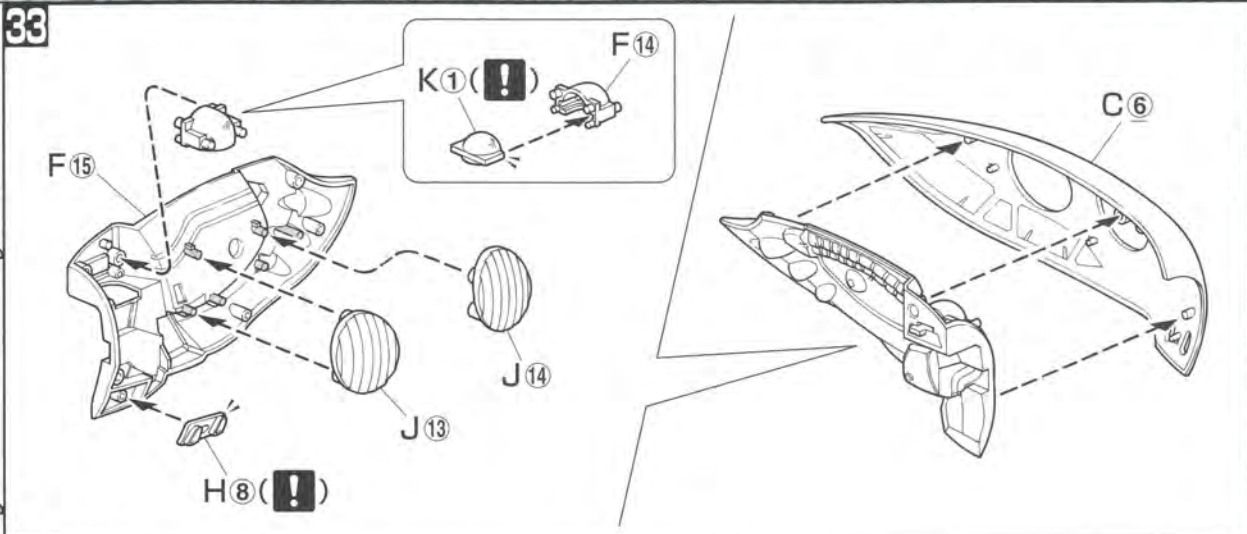
▲前腕部のビーム・サーベル(ビーム・ガン)は、脱着式。



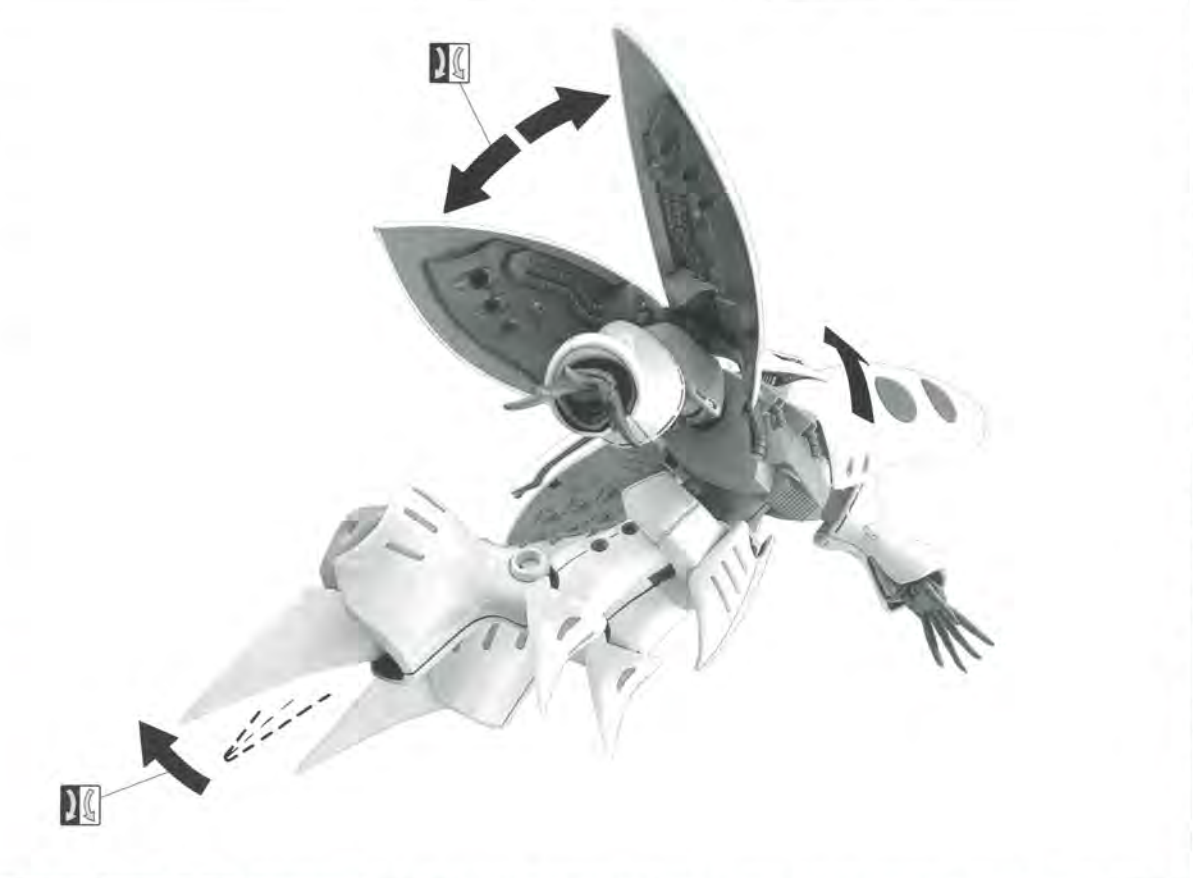
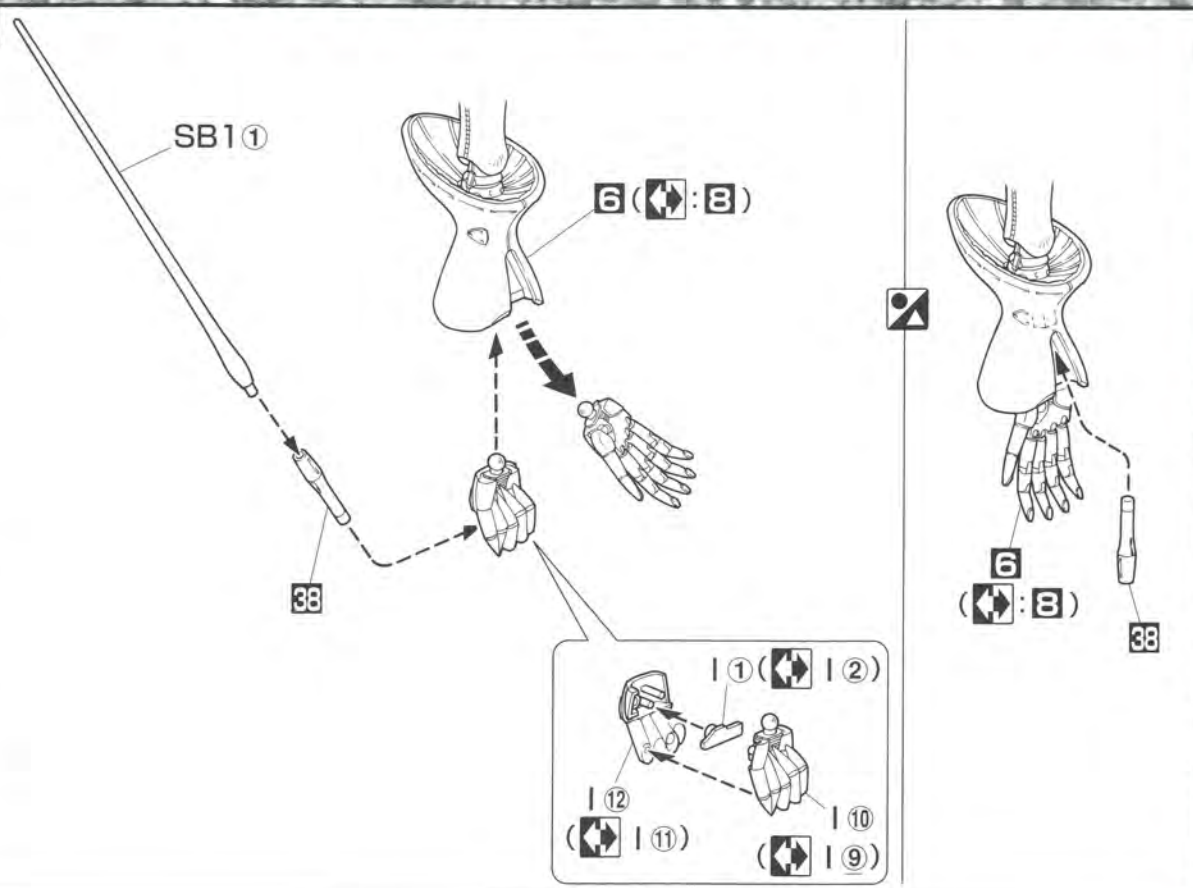
▲キュベレイ背面のファンネルコンテナは、外装の脱着が可能。内部メカディテールを精密に再現。







41



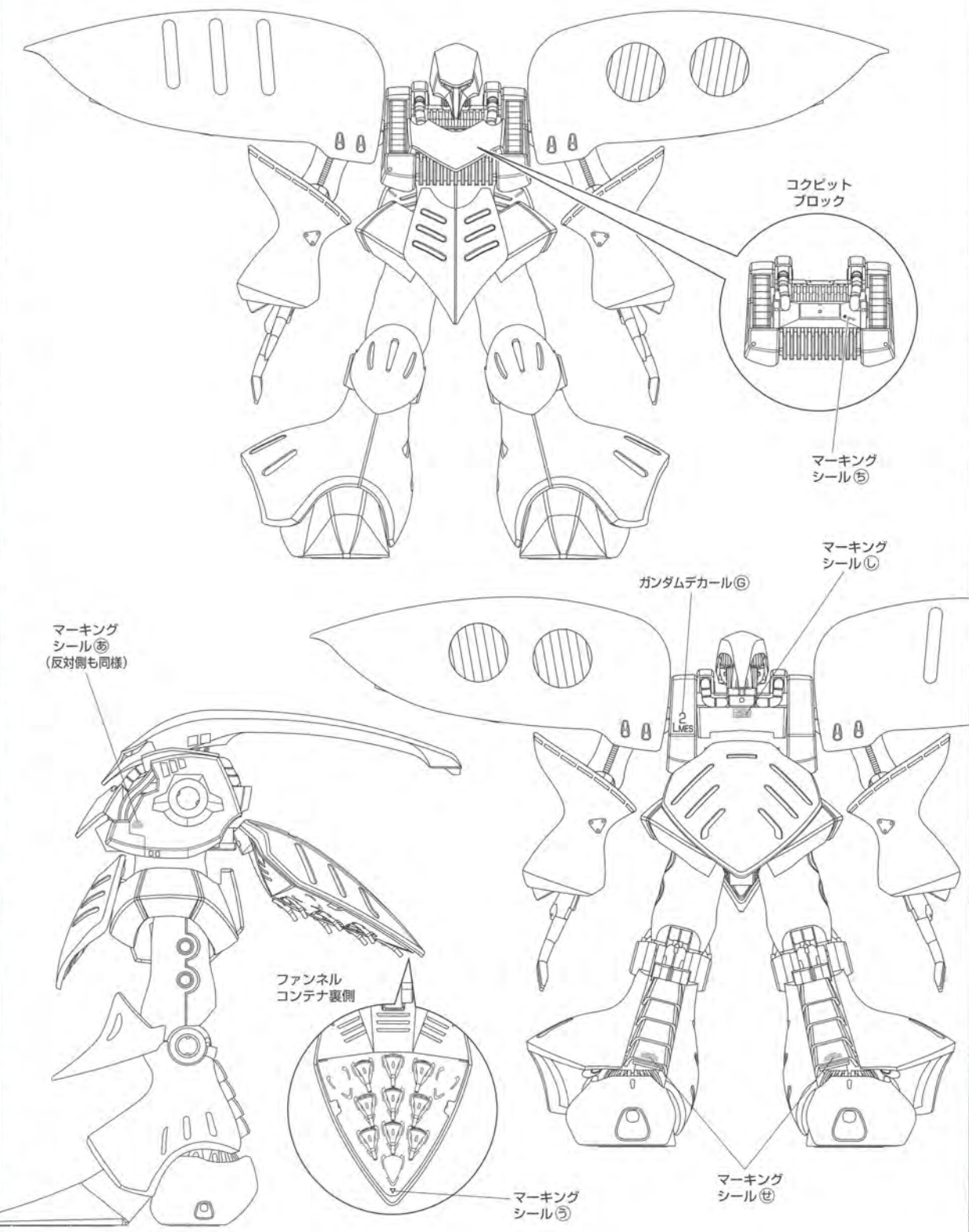
Seal

〈シール〉

下の図を見て、ガンダムデカールやシールの位置を確認してください。

ガンダムデカールのはりかた。

1. 転写するマークを大きめに切ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。